

国際ロータリー 第2500地区 第4分區

# 遠軽ロータリークラブ

THE ROTARY CLUB OF ENGARU, AREA 4, RID2500

## 第3151回例会記録

日時：2025年 1月23日(木)12:30~

会場：ホテルサンシャイン 2F

司会：高井 一博 SAA③

★開会点鐘：乾 淳 会長

★国歌：-

★Rソング：手に手つないで

★四つのテスト：-



2024-2025年度 国際ロータリーテーマ

# 2024~2025 Weekly Report No. 27

### 本日のプログラム

1月30日(木)12:30~  
委員会対応例会  
ロータリー情報委員会

### 次回のプログラム

2月 6日(木)12:30~  
ゲスト卓話 遠軽高等学校  
石崎 真悟 先生(ラグビー部監督)

小谷典之RID2500ガバナーズローガン：ロータリーに参画しましょう！誰かのために、あなたのために、自分のために

乾 淳 遠軽ロータリークラブ会長スローガン：歴史と誇りを胸にさらなる発展を！

## 会長報告 乾 淳 会長②

皆様、こんにちは。

本日は、北海道家庭学校 参事でいらっしゃる  
ます 夔本賢治 (わくもと けんじ) 様①をお迎え  
してのゲスト卓話です。宜しくお願い致します。

はじめに、平成19年1月より遠軽ロータリーク  
ラブに入会し、2013-2014年度会長、創立60周年  
記念式典実行委員長、2019-2020年度には  
MPHF(マルチプル・ポ ールハリス・フェロー) の認証を受けら  
れ、18年間に渡りクラブの発展にご尽力頂きま  
した渡邊政俊会員が1月18日にご逝去されました。

謹んでお悔やみを申し上げますとともに、心よ  
りご冥福をお祈り申し上げます。なお、葬儀には  
ご遺族よりご快諾を頂きロータリー旗を掲げさせ  
て頂きました事をご報告申し上げます。

1月も本日を含め残り9日となりましたが、今  
月は職業奉仕月間となります。

職業奉仕とは、ロータリーの基本的な活動理念  
の一つであり、職業を通じて社会に奉仕するこ  
とを目的としており、個々の職業に誇りを持ち、そ  
れを通じて社会に良い影響を与える責任を果たす  
ことを強調しています。そのため、ロータリアン  
は自らの職業を誠実に全うするとともに、他者の  
発展を支援し、地域や国際社会の課題に対応する  
ための努力を続けることが求められております。

五大奉仕の一つである「職業奉仕」の意義や目  
的を再確認する期間と致しましょう。

## 幹事報告 石井 朋子 幹事④

1. 会長報告の通り、第55代会長 渡邊政俊会員の葬儀に際し、当クラブ慶弔規定に基づき、生花・香典・弔電をお届けしております。
2. 特別講演の開催について(後程、遠軽商工会議所専務より案内有り)。

## 委員会報告

### ◇前島 英樹 国際奉仕委員長⑤

配布の「ポリオ募金活動の実施について」、えんがる屋台村雪提灯(遠軽JC主催)のイベントと共に盛り上げるためにも多数のご協力ご参加をお願いいたします。



### ◇大西 孝拡 会長エレクト⑥

2025-2026年度、遠軽RC役員・理事・委員会組織票を配布。五大奉仕部門とクラブ奉仕部門、ご自分の所属を確認頂き、特に入会年数も若い方が委員長になっておりますので、ぜひ皆様のご理解ご協力を頂いて、次年度の活動をしていきたいと考えております。よろしくお祈りします。

### ◇本間 克明 遠軽商工会議所専務⑦

2月15日(土)、当会議所、遠軽駐屯地存置期成会と遠軽信用金庫の3者主催で、櫻井よしこ様を講師に招いて講演会を開催。その後、岩田元陸上幕僚長や織田元空将などの論客も加わり、「トランプ2.0に備えよ」というテーマで座談会を開催。皆様には、是非、知人や従業員の皆さんをお誘いの上、ご聴講下さい。

## 本日のプログラム ゲスト卓話

大西 孝拡 プログラム副委員長⑥

会長より紹介がありました北海道家庭学校の夔本先生より、バター、チーズを全て先生がお一人で牛から生産、販売、配送まで行っているお話を聴いて頂きます。

【名前後の○数字は写真の番号】

**本日のプログラム** ゲスト卓話

北海道家庭学校 バター・チーズ工房  
 取り組みと今後の展望について  
 北海道家庭学校 参事  
 夙本(わくもと) 賢治 様①



私は幼少期には札幌で過ごし、酪農学園大学に入学して乳製品製造について学びました。

大学卒業後は、馬産地として有名な当時は門別町といましたが現在は日高町の海沿い、そこにある酪農家で従業員として働き、その後、遠軽町にある『北海道家庭学校』に移り、酪農全般の業務を任せられました。

令和元年からは、新たな挑戦として北海道家庭学校バター・チーズ工房を立ち上げ、現在はそちらで乳製品を製造して現在に至ります。

家庭学校が乳牛を導入したのは設立の翌年、およそ110年前の大正4年です。この地域の酪農は家庭学校から始まったと聞いています。バターを作り始めたのは大正5年、実用的な保存方法としてバター製造をはじめたのでしょうか。やがて遠軽の酪農業も盛んになり、町内に製酪工場ができて、この頃には一旦バター製造はやめています。

後にバター製造が再開するのですが、これはたまたま中古のバターの製造機、バターチェーンと言います。これが手に入ったから、冬の生徒の作業のためにと製造を再開したと聞いています。その中で、現在につながる独特なパッケージが出来上がりました。販売を視野に入れてこのような化粧箱に詰めたのだと思います。実際は販売できず、贈答用として、お世話になった方々への返礼として使われ、今もその伝統が残っています。この後、平成10年に私が家庭学校に就職したときに、このバター作りを引き継ぎましたが当初は販売を前提としたものではありませんでした。

その後、販売を始めてみないかと、周囲からお声がけを頂きチーズ製造を新たに学び直すなどして、工房設立の準備を進めました。前述のように歴史的にみて、バター作りが始めにあり、チーズは後に作り始めたものなので「バター・チーズ工房」となっています。

商品ラインナップの中に「トメオカ」と名付けたチーズがあります。ウォッシュタイプというチーズで、日本では一般にあまり馴染みがないかもしれませんが、癖のあるチーズで、あまり食べ慣れない人には不向きな味かもしれませんが、輸入チーズなどをよく食べる方には人気です。他ではあまりない、特徴のあるものを作って差別化をねらった商品でもありました。名前の由来は家庭学校の創始者である「留岡幸助」の姓であり、現在、家庭学校が所在する地区の地名でもある「留岡」から来ています。

「トメオカ」のほかに「サナブチ」というチーズも製造しています。

遠軽町でも私がここに来た25年前よりずっと酪農家の減少が続いています。

バター・チーズ工房創設の目的の一つに地域への貢献というものがありません。

「家庭学校にチーズあり」よりも「遠軽町にチーズあり」と、遠軽町の産業が賑わうことを願っています。

これを機に、ぜひ皆さんと交流を深め、一緒に地域を盛り上げていければ嬉しく思います。

**ニコニコBOX** 長嶋 宏明 親睦活動委員長⑧

佐藤直也君 新年会運試し1等賞ゲット! 2,000円  
 佐藤和徳君 無断欠席 2,000円  
 2024-25年度合計 383,000円

☆閉会点鐘：乾 淳会長☆今号会報担当：前島英樹委員

2024-25\_27th\_032

出席報告	例会日	会員数	出席計算 会員数	出席者数	メイク アップ	出席率	無断欠席
須藤順一 出席委員長⑨	1月16日	45	44	32	7	86.7%	
	1月23日	44	43	29		65.9%	

編集・発行：メディア委員会 2024-25 24th_02	
委員長：佐藤直也	副委員長：東海林勉
委員：加藤幸徳	木村一則 西 清治
前島英樹	宇野 勝

2024-2025年度 国際ロータリー  
 会長：ステファニーA.アーチック(アメリカ)  
 第2500地区ガバナー：小谷典之(帯広西RC)  
 第4分区分ガバナー補佐：山中憲一(紋別港RC)

遠軽ロータリークラブ www.engaru-rc.com



会長：乾 淳 副会長：金谷正一  
 会長エレクト：大西孝弘 幹事：石井朋子  
 会計：島田光隆 SAA：高井一博  
 直前会長：高橋義昭 事務局員：西野真那美  
 ◇1959年9月12日創立/1959年11月7日認証



【事務局】〒099-0415北海道紋別郡遠軽町若見通南1丁目 遠軽商工会議所内  
 Tel 0158-42-5201 Fax 42-5134 E-mail:info@engaru-rc.com  
 【例会場/日】北海道紋別郡遠軽町大通北1丁目 ホテルサンシャイン Tel 0158-42-1151 毎週木曜日12:30~13:30\*第3木曜日は夜間例会 18:00~(19:00)